

科目名（英文表記）	ビジネスプランニング I（Business Planning I）		
科目区分	実践科目	単位数	2 単位
担当教員名	内田純一・齋藤一郎・ 山本 充・（非）井馬智之・ （非）太田 稔・ （非）奥田和重	ナンバリング	MBA_P_BP 5411
研究室番号	内田（513） 齋藤（340） 山本（411）	研究室電話番号	内田（27-5389） 齋藤（27-5345） 山本（27-5381）
Eメール・アドレス	内田（uchida@res.otaru-uc.ac.jp） 齋藤（ichiro@res.otaru-uc.ac.jp） 山本（mitasu@res.otaru-uc.ac.jp）		

授業の内容及び方法：次頁以降に記載

授業の目的：

本講義では、基本科目や基礎科目で学習した多様な知識や分析・デザインスキルを前提として、次の二点を到達目標として置いています。

- ① 各種の分析フレームワークやスキルを、リアルなビジネスプラン策定場で「合理的・整合的に用いる」センスと実践的な能力を身につけること。
- ② 実現可能性が高く、他者に対する強い説得力を有するプランを策定し仕上げるための「練り上げ／練りこみ」プロセス（プランニングのための分析・検討・立案をくり返すことによるプランの品質向上のプロセス）の必要性を理解し習熟すること。

演習では、これら二点を達成するために、新たな“商品・サービスの企画”や“それを具現化する方法”“顧客への提供の仕方”など一連のビジネスプロセスを盛り込んだプランの策定（ビジネスプランニング）を4名前後のグループで行います。

具体的には、皆さんが着想したビジネスアイデアを基に、ビジネスコンセプトの構築、業界／競合や市場／顧客に関わる認識、当該事業を成功に導くための戦略構築や将来的な成長を展望したフェーズ計画を構想し、それらを「事業計画書」として取りまとめます。

この演習を通して身につけてもらいたい主な分析能力と創発的能力・センスは、“ビジネスアイデア／ビジネスコンセプトの想定”“業界構造分析”“市場分析・ターゲティング”“価値連鎖分析”“SWOT分析”“戦略構築”“ビジネスフローの設計”“財務予測”などです。

使用教材：

テキスト：小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのビジネスプランニング 改訂版』同文館出版, 2012年

小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのビジネスプランニング手法』同文館出版, 2010年

上記以外の参考文献ならびに授業時に使用する各種資料等については、随時、manaba上にアップロードします。

成績評価の方法：

成績評価の評点配分については、以下の通りです。

出席点 : 0%

【個人ごとの評価】

授業への参加・貢献度（ディスカッサント講評） : 20%

【グループごとの評価】

モジュール1・2・3の事後課題（それぞれ順に12%+13%+15%） : 40%

モジュール4の後のプラン最終版 : 40%

評価に不服のある場合には、不服申立書を以て教務委員長に申し出てください。

履修上の注意事項：

- ① 授業は基本的に、本シラバスの記載内容に即して行いますが、変更の必要が生じた場合や別途の指示、事前・事後課題の詳細等につきましては、manaba上に掲載します。
- ② 成績評価上、5時限以上欠席すると自動的に不可となるので注意してください。
- ③ なお、モジュール4の授業は、試験相当時間（1時限）分を併合し、10：30～17：40の時間帯で行います。
- ④ 本授業では、履修者相互の気づき・啓発を目的として「ディスカッサント（Discussant：討論者）」制度を導入します。すなわち、各グループに対しては、予め複数のディスカッサント（他のグループに属する履修者）を設定し、当該グループのプレゼンテーションおよび作成資料に対するコメントを義務付けます。なお、提出された「ディスカッサント講評」については“授業への参加度”として評価し、個人別の成績に反映します。
- ⑤ 本授業では、グループワークにおけるフリーライダーを抑止するため、ディスカッションにおいて教員が、回答者を指名したうえで、質問する場合があります。
- ⑥ 本授業のグループワーク活動の一環として、学外の方（例えば、OBSのOBやOG等）にインタビューなどを依頼する場合には、社会人としてのビジネスマナーを守り、決して先方に迷惑をかけたりすることのないように充分配慮してください。このような訪問を行う場合、自分の勤める会社の名刺ではなく、OBSの大学院生としての名刺を用意されることをお勧めします。

授業の内容及び方法

モジュール 1		ビジネスプランニング：ラウンド1
事前準備	<p>manabaを通じて、全履修学生から自分が取り組んでみたいビジネスのアイデア及びそのビジネスのコンセプトを、事前課題として9月初旬までに提出していただきます。その内容に基づいてグループ編成を行い、9月中のなるべく早い時期に皆さんにお知らせします。</p> <p>グループ編成が決まりましたら、ビジネスプランニング I のモジュール 1 (10月下旬) までに取り組むビジネスの概要をグループごとに検討し、可能な限りプランニングの作業を進めてください。</p>	
第 1 時限	ビジネスプランニングの概要	
	<p>本授業の進め方に関するオリエンテーションならびにビジネスプランの概略、プランニングの進め方等に関するレクチャーを行います。レクチャー終了後は直ちに、グループワークに入ります（グループワークの時間は、その後の発表・質疑応答の時間設定に応じて、都度変更される可能性があります）。</p>	
第 2 時限	グループワーク：ラウンド1-1	
	<p>グループ毎にビジネスプランニングのラウンド1の練り込みをグループワークとして行います。グループワークでの検討項目（どのような分析や検討を行うか）は、各グループの作業進捗状況に応じて、適宜、自分たちで設定してください。</p>	
第 3 時限	グループワーク：ラウンド1-2	
	<p>第2時限に引き続いて、グループ毎にビジネスプランニングのラウンド1の練り込みをグループワークとして行います（グループワークの時間は、その後の発表・質疑応答の時間設定に応じて、都度変更される可能性があります）。</p>	
第 4 時限	グループ発表と全体ディスカッション	
	<p>第2時限、第3時限のグループワークの内容をグループ毎に発表し、全体ディスカッションを行います。なお、発表者は当日、指名しますので、メンバー全員が誰でもプレゼンテーションできるようにしてください。自グループのプランについては、人任せにせず、十分に理解するように心がけてください。</p> <p>発表時間は10分、質疑応答5分程度の目安で行います。</p>	
復 習	<p>グループ毎に、モジュール1で行った検討結果をモジュール1事後課題としてまとめ、翌週の月曜日までにmanaba上にアップロードしてください。これは、各グループ担当のディスカッサントによる講評対象ともなります。</p> <p>なおプランを検討したり、まとめている最中に疑問が生じたりした場合は、manabaあるいは各教員に直接、いつでも質問・相談していただいても構いません。</p>	

モジュール 2 ビジネスプランニング：ラウンド2	
事前準備	<p>グループ毎にモジュール1での成果を踏まえて、分析・検討・練り込みを行います。その際、モジュール1事後課題版に対する教員の評価結果やディスカッサントからの講評も参考にしてください。</p> <p>モジュール2は11月下旬の土曜日ですが、その前々日の木曜13:00までに、モジュール2の事前課題（モジュール2の授業までの間に行ったプランニングの成果）をmanabaにアップロードしてください。事前課題は評価の対象ではありませんが、これを用いて、教員はプランニングの進捗状況を確認するとともに、モジュール2におけるグループワークの際のコメント資料として用います。</p>
第 5 時 限	<p>ビジネスプランニングに関するレクチャー</p> <p>本日のスケジュールについて説明した後、プランの進捗状況に応じて、ショートレクチャーを行う場合があります。また、モジュール1で挙げられた疑問や質問に対する補足的な説明を行うこともあります。ショートレクチャー終了後は、グループワークに入ります。</p>
第 6 時 限	<p>グループワーク：ラウンド2-1</p> <p>グループ毎にビジネスプランニングのラウンド2の練り込みをグループワークとして行います。グループワークでの検討項目（どのような分析や検討を行うか）は、各グループの作業進捗状況に応じて、適宜、自分たちで設定してください。</p>
第 7 時 限	<p>グループワーク：ラウンド2-2</p> <p>第6時限に引き続いて、グループ毎にビジネスプランニングのラウンド2の練り込みをグループワークとして行います（グループワークの時間は、その後の発表・質疑応答の時間設定に応じて、都度変更される可能性があります）。</p>
第 8 時 限	<p>グループ発表と全体ディスカッション</p> <p>第6時限、第7時限のグループワークの内容をグループ毎に発表し、全体ディスカッションを行います。なお、発表者は当日、指名しますので、メンバー全員が誰でもプレゼンテーションできるようにしてください。自グループのプランについては、人任せにせず、十分に理解するように心がけてください。</p> <p>発表時間は10分、質疑応答5分程度の目安で行います。</p>
復 習	<p>グループ毎に、モジュール2で行った検討結果をモジュール2事後課題としてまとめ、翌週の月曜日までにmanaba上にアップロードしてください。これは、各グループ担当のディスカッサントによる講評対象ともなります。</p> <p>なおプランを検討したり、まとめている最中に疑問が生じたりした場合は、manabaあるいは各教員に直接、いつでも質問・相談していただいて結構です。</p>

モジュール 3 ビジネスプランニング：ラウンド3	
事前準備	<p>グループ毎にモジュール2での成果を踏まえて、分析・検討・練り込みを行います。その際、モジュール2事後課題版に対する教員の評価結果やディスカッションからの講評も参考にしてください。</p> <p>モジュール3は12月下旬の土曜日ですが、その前々日の木曜13:00までに、モジュール2の事前課題（モジュール3の授業までの間に行ったプランニングの成果）をmanabaにアップロードしてください。事前課題は評価の対象ではありませんが、これを用いて、教員はプランニングの進捗状況を確認するとともに、モジュール3におけるグループワークの際のコメント資料として用います。</p>
第 9 時限	<p>ビジネスプランニングに関するレクチャー</p> <p>本日のスケジュールについて説明した後、プランの進捗状況に応じて、ショートレクチャーを行う場合があります。また、モジュール2で挙げられた疑問や質問に対する補足的な説明を行うこともあります。ショートレクチャー終了後は、グループワークに入ります。</p>
第 10 時限	<p>グループワーク：ラウンド3-1</p> <p>グループ毎にビジネスプランニングのラウンド3の練り込みをグループワークとして行います。グループワークでの検討項目（どのような分析や検討を行うか）は、各グループの作業進捗状況に応じて、適宜、自分たちで設定してください。</p>
第 11 時限	<p>グループワーク：ラウンド3-2</p> <p>第10時限に引き続いて、グループ毎にビジネスプランニングのラウンド3の練り込みをグループワークとして行います（グループワークの時間は、その後の発表・質疑応答の時間設定に応じて、都度変更される可能性があります）。</p>
第 12 時限	<p>グループ発表と全体ディスカッション</p> <p>第10時限、第11時限のグループワークの内容をグループ毎に発表し、全体ディスカッションを行います。なお、発表者は当日、指名しますので、メンバー全員が誰でもプレゼンテーションできるようにしてください。自グループのプランについては、人任せにせず、十分に理解するように心がけてください。</p> <p>発表時間は10分、質疑応答5分程度の目安で行います。</p>
復 習	<p>グループ毎に、モジュール3で行った検討結果をモジュール3事後課題としてまとめ、翌週の月曜日までにmanaba上にアップロードしてください。これは、各グループ担当のディスカッションによる講評対象ともなります。</p> <p>なおプランを検討したり、まとめている最中に疑問が生じたりした場合は、manabaあるいは各教員に直接、いつでも質問・相談していただいても構いません。</p>

モジュール 4 ビジネスプランニング：ラウンド4	
事前準備	<p>グループ毎にモジュール3での成果を踏まえて、分析・検討・練り込みを行います。その際、モジュール3事後課題版に対する教員の評価結果やディスカッションからの講評も参考にしてください。</p> <p>モジュール4は2月上旬の土曜日ですが、その前々日の木曜13:00までに、モジュール3の事前課題（モジュール4の授業までの間に行ったプランニングの成果）をmanabaにアップロードしてください。事前課題は評価の対象ではありませんが、これを用いて、教員はプランニングの進捗状況を確認するとともに、モジュール4におけるグループワークの際のコメント資料として用います。</p>
第 1 3 時限	グループワーク：ラウンド4-1
	<p>本日のスケジュールについて説明した後、プランの進捗状況に応じて、ショートレクチャーを行う場合があります。また、モジュール3で挙げられた疑問や質問に対する補足的な説明を行うこともあります。ショートレクチャー終了後は、グループワークに入ります。</p>
第 1 4 時限	グループワーク：ラウンド4-2
	<p>グループ毎にビジネスプランニングのラウンド4の練り込みをグループワークとして行います。グループワークでの検討項目（どのような分析や検討を行うか）は、各グループの作業進捗状況に応じて、適宜、自分たちで設定してください。</p>
第 1 5 時限	グループ発表と全体ディスカッション
	<p>第14時限に引き続いて、グループ毎にビジネスプランニングのラウンド4の練り込みをグループワークとして行います（グループワークの時間は、その後の発表・質疑の時間設定に応じて、都度変更される可能性があります）。</p>
第 1 6 時限	グループ発表と全体ディスカッション
	<p>第14時限、第15時限のグループワークの内容をグループ毎に発表し、全体ディスカッションを行います。なお、発表者は当日、指名しますので、メンバー全員が誰でもプレゼンテーションできるようにしてください。自グループのプランについては、人任せにせず、十分に理解するように心がけてください。</p> <p>発表時間は10分、質疑応答5分程度の目安で行います。</p>
復 習	<p>グループ毎に、モジュール4で行った検討結果をモジュール4事後課題としてまとめ、翌週の月曜日までにmanaba上にアップロードしてください。教員はこれに仮評価・コメントを付して一度フィードバックしますが、仮評価は成績に反映されません。その後、もう一度練り込んでいただき、モジュール4終了後およそ1週間～10日を目標として、プラン最終版の締め切りを設定します。各グループがmanabaにアップロードしたプラン最終版を評価し、これを成績に反映します。</p>